

令和4年3月8日

四国大学／四国大学短期大学部

学長 松重 和美

城西高等学校神山校と四国大学によるコラボレーション授業

『ボードゲームの遊び体験を通じて「協働に必要なコミュニケーション力」、 「自己と他者理解」を考える』の開催について（ご案内）

平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学では、建学の精神「全人的自立」を掲げ、知識・技術の修得とともに、自ら考え探求し、人間性豊かで就業力の高い人の育成に努めており、高校との連携におきましても、「次世代人材の育成」を念頭に、これまでの出前授業や教員研修などの取り組みに加え、時代に対応、更には先取りした特色ある教育プログラムを行っています。

この度、城西高校神山校の1年生が、2年生から始まるグループでのフィールドワーク学習の土台作りとして、「協働に必要なコミュニケーション力」、「自己と他者理解の大切さ」を、遊びによる実体験を通じて学ぶことを目的とした、『ボードゲームを通した城西高等学校神山校と四国大学によるコラボレーション授業』を行います。

つきましては、下記及び別添のとおり開催いたしますので、ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、取材方ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

日時：令和4年3月17日（木） 9：30～12：00

場所：徳島県立城西高等学校神山校（徳島県名西郡神山町神領北 399）

主催：城西高等学校神山校

四国大学 社会連携推進課

四国大学 ボードゲーム同好会（顧問・学生）

使用するゲーム：「ディクシット」「ジャストワン」「あるでないで！」



『あるでないで！』

アメリカ発祥のカードゲーム『ピット』を参考に、本学のボードゲーム同好会が、地域研究の教材として試作したゲームです。

（ルールも基本的にピットと同じです）

ピット内のカードを「徳島のご当地グルメ」に置き換えており、プレイすることにより、徳島県のご当地グルメに興味を持ってもらうことを目的としています。

概要：

- ① 多種多様なボードゲームの中から、「コミュニケーション力」、「言葉の発想力」を活用し、「遊んだ人同士が仲良くなる」効果があるものを3種類チョイスして遊びます。そのうちの一つは、芸能人のキムタクが、最近ハマっている遊びとして紹介した人気カードゲーム「ディクシット」です。
- ② ゲームのグループには、高校生だけでなく、高校の先生、大学教職員、大学生（ボードゲーム同好会員・外国人留学生）も混ざって遊びます。普段はコンタクトしないような色々な立場の人と一緒に遊んで真剣に遊ぶという経験も教育効果として設定しています。
- ③ 四国大学はインストラクターとして協力する立場ですが、参加する大学生にとっては大学の地域貢献・高大連携教育プログラムの主要スタッフを経験する貴重な学びの機会です。
また、本同好会が地域研究の教材として試作した徳島のご当地グルメをテーマにしたカードゲーム『あるでないで!』もプレイします。大学側にとっても特色ある教育として大きな可能性を感じているプログラムです。

＜参考 昨年度（第1回）の実施風景＞



↑左端はボードゲーム同好会部長、運営スタッフとして一緒に遊びながら進行補助を担当



＜ボードゲーム同好会 SNS＞



＜本件に関する問合せ先＞

四国大学 国際課

岩木 太郎（ボードゲーム関係担当）

TEL：088-665-9911/MAIL：iwaki-taro@shikoku-u.ac.jp

四国大学社会連携推進課

吉田寛夫（企画・全体調整担当）

TEL：088-665-9953/MAIL：h-yoshida@shikoku-u.ac.jp